

## 薬事情報センターに寄せられた県民・医療従事者からの相談事例 (2013年7月)

### 【適正使用】

Q：家族がロヒプノール™とアモバン™を服用中。指示は1錠だが眠れないので勝手に2錠を服用。副作用や依存があることを知り、1錠に減らしたら、手のしびれや痛みが出てきた。薬を止めたが、どうしたら良いか？（県民）

A：勝手に薬の量を調節すると、逆に不眠の状態が悪くなることもある。止める場合には、少しずつ量を減らしたり、服用間隔をあけていく方法などがあるので、自分で調節せずに主治医に相談する。

Q：鎮痛薬を飲むと眠くなるが、睡眠薬として使用して良いか？（県民）

A：痛みがあって眠れない場合などに鎮痛薬を使用することはあるが、睡眠薬としては使用しない。

Q：家族が施設に入所中疥癬に感染した。安息香酸ベンジルで治療したいが、どこで入手すれば良いか？（県民）

A：安息香酸ベンジルの医薬品の市販はなく、試薬特級を使用して製剤したものを使用する（保険診療外使用）。治療で用いる場合は、医師の診断のもとに使用されるべきもので、個人の使用は勧められない。

Q：ダイエットで皮膚科を受診。自由診療でベイスン™とソルファ™が処方された。薬の効果の説明が、医師とネットとでは内容が違うがなぜか？（県民）

A：ネットで検索できる薬の説明は、薬事法上効能・効果が認められ、保険診療が可能な効能・効果である。ダイエットでの使用は未承認のため、ネットにその効能・効果の揭示はできない。

### 【副作用防止】

Q：ドラール™を食後に飲んだらいけないのはなぜか？（県民）

A：食後では吸収が増大し、血中濃度が上昇するので、過度の鎮静や呼吸困難などの副作用の危険性が高くなる。食後3時間程度の間隔を開ける。

Q：脳梗塞を起こし、プラビックス™を服用中。大腿骨骨折で手術予定。医師から、手術までの12日間休薬指示があった。ネットには14日以上休薬になっているが、大丈夫か？休薬したらまた脳梗塞を起こさないか？（県民）

A：14日以上開けることが望ましいが、状況によってはそれ以内になることもあり、指示通りに中止する。休薬による血栓塞栓症のリスクは個人あるいは疾病の時期や病勢等によっても異なるので主治医に相談する。

**【禁忌】**

**Q：片頭痛の治療でトリプタン系薬のレルパックス™とエルゴタミン誘導体のジヒデルゴット™を併用して良いか？（薬局）**

**A：併用により血圧上昇又は血管攣縮が増強されるおそれがある。レルパックス™投与後にエルゴタミンあるいはエルゴタミン誘導体含有製剤を投与する場合やその逆の場合は、それぞれ 24 時間以上の間隔をあけて投与する。**